

「省エネ市民会議」

会議年月日	27年5月1日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	新田、春田(記)、大前、平手、加藤、日比野、遠藤、川上、服部、新美、高橋 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				

議 題

5月度の省エネ市民会議を開催した。

1, 先送りできない“気候変動問題”に対処する最近の話題(講師:新田 修)

先送りできない“気候変動問題”に 対処する最近の市民の課題

～世界に取り残される国 このままでいいのか～

- ① COP21の意義(各国が気候変動についての対策とCO2の削減目標)
- ② 我が国のCO2の削減目標は?
- ③ 我が国の電源構成(エネルギーミックス)は?
- ④ 再生可能エネルギーの買取制度(FIT)の見直し
- ⑤ 電力事業の経営変化(電力自由化、石炭火力の導入…)

第94回「省エネ市民会議」
日時:平成27年5月1日
主催:省エネ市民会議
実施:温暖化防止なげやま

教えて! 温暖化対策

朝日新聞 連載記事より (平成27年4月14日～4月26日)

1. 新たな国際枠組み 年末開催のCOP21に向けて
世界の気温上昇 4度上昇で影響深刻
2. 温室効果ガス、どのくらい減らせばいいの?
3. 日本の取り組み どうなっているの?
4. 欧米は石炭の規制強化、日本は?
5. CO2削減、原発で期待できる?
6. 再生エネ、各国の目標は?
7. 省エネの余地 どこにある?
8. 経済成長と両立できる?

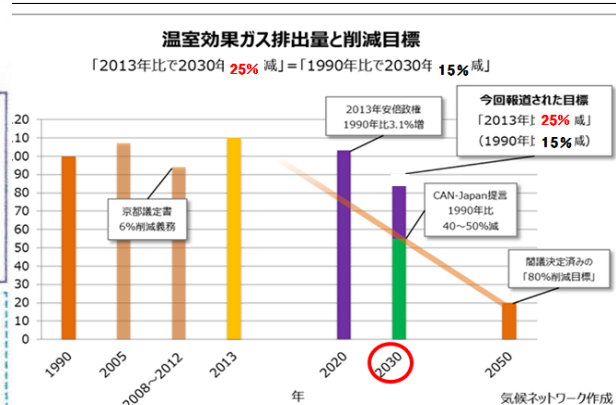
* 資料はHPに掲載します。 <http://www.na-shimin.org/w2/obn/index.html>

2. 世界に取り残される日本はこのままでいいのか(気候ネットワーク平田理事の資料を説明:新田 修)

国際交渉に関わるNGO連合体 CAN-Japan の削減目標の提言

温室効果ガス排出量を、
2025年までに1990年比で30～35%、
2030年までに1990年比で40～50%削減する
(2010年比でそれぞれ31～36%、41～51%削減)

- ・ 再生可能エネルギー目標
+ 固定価格買取制度/電力システム改革/熱政策
- ・ 省エネルギー目標
- ・ 化石燃料への依存からの着実な転換(石炭火発増設の歯止め)
- ・ 野心的な気候変動目標と脱原子力の方針を両立



3, 討議

- ・世界及び日本の動向は分かったが市民としての対応が見えない。
- ・OBNの活動の一部が紹介されたが、市民全体で取り組む活動(例:打ち水、ノーカーデー等)が欲しい。
- ・松戸市では、行政とNPOが協働して活動している事例があるので機会があれば紹介したい。

<次回予定>

- ・日時=6月5日(金)13:30～15:30
- ・会場=生涯学習センター(3F)第4会議室
- ・テーマ=未定

以上